

都市づくりフォーラム 第6回

都市づくりトピックス

< 都市と水 >

「水郷公園」や「城沼」「大沼」という地名があるように、羽生市は昔から水の都でした。市内には葛西用水路をはじめ、多くの水路が縦横に流れており、水の音が絶えることはありません。羽生市の歴史は、水との関わりの歴史といっても過言ではないと思います。

都市づくりにおいて重要なことは、水といかにかまつきあうかということだと思えます。水は、ときには暴れることもあります。広大な田園を潤す命の源であり、都市景観の構成要素として人々にやすらぎとうるおいを与えてくれる存在です。

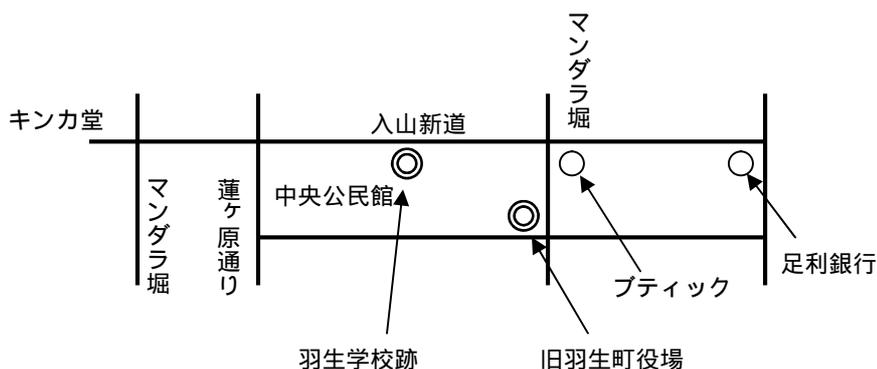
安全で豊かな水環境を創出・保全するには、田園の保全や緑化の推進による保水機能の増進、水と親しめる場所づくりのほか、各家庭でできる雨水浸透柵の設置や雨水の再利用による流出抑制策があります。小さなことでも積み重なれば大きな効果を発揮します。皆さんとともに災害の少ない都市をつくりたいと考えています。

羽生のいいところミーック

< 歴史の宝庫、入山新道その2 >

今回は役場と学校の跡についてご紹介します。中央公民館付近は、羽生市の学校発祥の地です。中央公民館は市民の皆さんの生涯学習の場として活用されています。都市が歴史の記録媒体となり、伝統が継承されています。

(本川侯在住の掘越美恵子様から情報をいただきました。ありがとうございました。)



旧町役場...森田医院さんの所に最初の羽生町役場がありました。その後、中央公民館の場所で町役場から市役所になり、昭和49年(1974年)の市制施行20周年を機に現在の場所へ移りました。

羽生学校跡...中央公民館の場所は、かつて神明社という神社でした。その社務所のような役目をしてきた伊勢殿という建物を使って、学制発布後の明治5年(1872年)、県内で最初の学校が開校されました。その後、生徒数の増加により正光寺に校舎を移しました。

が、寺が全焼したため、観音寺跡に校舎を新築して明治8年（1875年）に開校しました。これが現在の北小学校です。中央公民館の前には羽生学校の碑が建っています。

（先月号の訂正）入山新道を造ったのは「入山さん」ではなく「乾さん」でした。「入山」は乾さんの屋号です。



市民フォーラム

現下の厳しい財政状況の中で、道路や側溝などの整備に対する市民の皆さんの要望に対応することが難しくなっています。前回の市民フォーラムでもお話ししたように、市では「地域でできることは自らの手で」という理念に基づき、市民・企業・行政の協働による地域づくりについて検討を進めています。地域の企業（大企業から地域密着の商店まで）の皆さんには、可能な範囲で労力や資材、お茶、軍手などといった様々な支援をお願いすることになります。協力していただいた企業の皆さんには、企業名の広報への掲載や市役所玄関ホールでの公表を考えております。この考え方について、特に企業の皆さんからのご意見をお聞きしたいと思います。下記あてどしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

市民フォーラムへのご意見やいいところミーツケへの情報提供先は

都市計画課（内線275）

FAX 561 - 6380

email toshikei@city.hanyu.lg.jp